

夢中になること

みなさんは、土井レミイ杏利という選手を知っていますか？
土井選手は、ハンドボールの日本代表キャプテンをつとめるアスリートですが、動画配信アプリTikTokでフォロワーが180万を超える「レミたん」の愛称でも大人気です。TikTokのCMにも出演しています。

TBSテレビで放送されている『東京 VICTORY』で2/20の放送回ではハンドボール競技が紹介されていました。その一つ「未来へ羽ばたけ VICTORY KIDS」のコーナーでは、小学6年生の石上 煌選手を紹介し、最後にアスリートに質問をするという進行となっていました。石上選手は関東大会二連覇を達成し、ゴールキーパーと左45（チームのエース）を担う二刀流の天才プレイヤーです。その石上選手からの質問は「日本代表になる為にどんな努力が必要か？」というものでした。

これに対して土井選手は、「努力をしないこと。」と答えています。どうということかと思っただけの言葉を待っていると「努力は夢中には勝てない、夢中になっていればどれだけ頑張っても苦ではない。これが一番のコツ」だと締めくくっています。

また、陸上男子400メートルハードルの日本記録保持者・為末大さんも「例えばイチロー選手などが素振りを毎日何百回、何千回とやっていて、『ああやって努力すると、あんな選手になれるんだよ』と言われることはよくある。でも実際には多くの選手が『ああでもない、こうでもない』『もっとこうすればいいのではないか？』と、気が付いたら何百回もやっていたというのが正しいと思う。外から見ると努力だけけど、本人はただ夢中だったということはよくある。頑張ることも大事だけど、一方で自分が本当に没頭できるものを探せると、みんなは『頑張らなきゃ』と思ってやっている中、本人は楽しいと思いつながらグングン伸びて行くので、『夢中』は大事だなという感じ」と話しています。

試行錯誤している時は、すでに夢中になっている瞬間だと思えます。勉強でもがいている人が多いと思いますが、その点で皆さんはすでに夢中になっているのかも知れません。新年度を迎えるにあたり「一人一人の文武両立」を目指して、高校生活の中で一つ、本気（マジ）で勉強に夢中になってみませんか？

(文責 堀)



3/24 現在

卒業生進路状況
国公立大学合格者
38名

大学名	人数	大学名	人数
名古屋工業大学	2	名古屋市立大学	4
岐阜大学	2	愛知県立大学	7
静岡大学	1	富山県立大学	2
信州大学	1	長野県立大学	1
富山大学	1	高崎経済大学	1
福井大学	2	山梨県立大学	1
鳥取大学	1	福山市立大学	1
愛媛大学	1	高知工科大学	1
大分大学	1	都留文科大学	1
鹿児島大学	1	滋賀県立大学	1
琉球大学	2		
北見工業大学	3		

『2年の窓』

みんなは、なぜ多治見高校を選びましたか？おそらく就職ではなく進学を考えたのが理由ではないですか。では、なぜ高校は出口を気にするのに大学は出口を気にしないのでしょうか。大学はたくさんあるため、出口もさまざまです。この方面ではこの大学が、この分野ではこの大学での就職が有利などです。僕が大学生のときに就職活動をしていた同期がこんな事を言っていました。「ここは地方の小さい国公立だけど、東京や大阪、九州の企業は国公立ってだけで関東の有名な私立よりも待遇がよかった。やっぱり腐っても国公立やわ。」どの分野に進むのか、どの方面に行きたいのか悩んでいる人も多いと思います。通える私立もいいですが、就職を考えてとりあえず遠くでも国公立を目指してみてもいいでしょう。就職活動のときは間違いなく有利ですよ。

今年3年生を担当して思ったことがあります。いろいろな大学を紹介する中で、「ここ入っても学力足りないからついてけんもーん」「この大学、実家から遠いじゃないですか」なんてことをよく言い、受験しない人をたくさん見ました。そんなもんは「受かってから悩め」って話です。多くの受験方式は合格が決まったあとに辞退することが可能です。受かってからの話は受かってから考えればいいではないですか。そういう理由でチャンスを捨ててしまっているかもしれません。前向きにチャレンジをして、自分の中で「違う！」ってなれば、合格してから悩んでも遅くはないですよ。受かってからのことは受かってから考えましょう。

最後に、卒業生した3年生がみんな口々に、残念な結果だった人は「もっと早くから、もっとたくさんやっておけばよかった。」希望が叶った人は「苦しかったけど、諦めずに最後まで頑張ってた。」と言っていました。みなさんが今できること、今しかできないことに全力で取り組んでもらえればと思います。

(文責：後藤佑)

『1年の窓』

「なぜ学ぶのか」を考えてみた

入学試験には必要な科目とそうでない科目があります。理系で言えば数学や理科、英語はほぼ必要でしょう。文系では英語と国語、地歴公民などは必要になることが一般的です。なぜなら「使う」可能性が高いからです。では理系の人には国語や社会は適当に勉強しておけば良いのでしょうか？文系の人に数学や理科はいらないのでしょうか？

①そもそも勉強とは頭を使う訓練をしている

脳みそが若いうちに頭を使う訓練をしておく。子供のうちに学校に通う意味はそこにあるのだと思います。自分の経験から言っても、詰め込んで覚えたことの多くは忘れます。ではどうせ忘れるから覚える必要がないのか？そうではないと思います。人間が他の動物と違うのは高度に脳を使える点にあります。人間らしく生きるという意味で、頭を使う訓練をしておくことは、長い人生を過ごしていく過程でとても大事なことです。「苦手だからやりたくない」と思うこともあるかも知れませんが、苦手なことでも、わかりにくいことでも、一生懸命考えて頭を使っておくことが、長い目で見て人生の糧になるような気がします。

②使わないからその科目はいらない？

「使わないからいらない」という人はたくさんいるのではないのでしょうか。では本当に「使わない」と言い切れるのでしょうか？それは「今は使わないと思っ込んでいる」だけじゃないですか？世の中、解決できない問題が複雑に絡み合っています。そんな時、偏った知識ではなく、幅広く物事を見て考える力が必要で、そんな力を持っている人がA1に負けない人材となるのではないのでしょうか。何でも貪欲に学ぶ姿勢が大事です。

③学んだ人は余裕があり、豊かに暮らしている

今までいろんな人に出会ってきました。長い目で見てその人なりに学ぶ姿勢を持ち続けている人は、どこか心に余裕があり、(経済的には平凡かもしれませんが)豊かな生活を送っているように感じます。人間らしく生活をしています。テストのために詰め込むような学習も、後から考えてみるとそれはそれで役に立つものかもしれません。自分のために、自分の未来のために学ぶという気持ちを忘れず、これからも学び続けてください。

(文責：岡崎)